図の大理都にして更に大京記 基礎総入園きを加ふ、ピルマ東新秩序を建設するはわが鑑 日を添うて成り、圏内路郭の

右決能す

航空決戰愈々熾烈化

にも魔欲散りにも観察の極み の整備から解放し各民族を國家を で、大東部民族をこ

が関に既せられたる天の遊命であ

て一億國民は総員報國帰避につ 東條首相が一昨日本増上に於い

1 り制効なる酸の反変企園は限り難している。 フロモン 戦闘ニューギニヤ島の成立

洋艦、駆逐艦の越傷版派を配した

き属に一切の行悪りを地域し年

く、米英服盛の県戦の起つた因由

||一例を揮つて今ぞ起て

ニヤン宮殿に於いて行はれた。日本側村田大姫及び森西県的の批准器近線は廿八日午後二時からマニラ マラカ マニラ廿八日同盟】云る十八日批准を了した日比同盟 日比同盟條約批准書交換 oと共に、進んで大東亜の解放と新秩序建設のため十億民族の總蹶起を要望、Ha國取の懸念を戦の影響を設定の解源補揚一致これを可決し、一億國民の撃ちてし止まむ 不退轉の決意を表明す姿を巻く可認成立せしぬた、影響は急後大東山民族總蹶起に關する決議案を上程、象差異元より最繁重的

の、米田をして添くその節 - 今や解米変異雑職闘の非団 を選じ、印度赤た関欧府を関 | 地関の目的なり フィリピンは既に顕立の組織

フィリピンは既に獨立の復図る

大東亞總蹶起決議文

億の決意を表明

・億の蹶起要望

衆院、満場一致で決議

日際に祭薬料金一封御下賜あら 宗教行の 題き聞名され、 廿八

計消現然ともいるべき大いたが、帝國教育會ではこ

國內必勝態勢全し

敵前議會、審議を終了

正法律

案(政府提出官族院等

規則政政司の職署を指揮した経済

、裁判所行政法院時時、例中改一威完整への決獄は議場に添れ謎り

正繊維上の決定

學刑事特別法中改正法律案

民事特別法中改正法律案

つき挨拶を行ひ回七時卅八分散留

ないない。

理學大綱。理學概說

χ.

館文同

配原 武器

近世國體思想欠論

華士 伊東多三郎著

發賣中

畏くも祭粢料下賜 殉職教職員に大御心 a可加出中斯勒 6月後 新行聲

が日本人小母被兵上野信軍氏脳 が日本人小母被兵上野信軍氏脳 に十六柱の合配祭を脳かに執行 定の如き超話を後表した 文部大臣護話

法律案を委員自能了を定つて順次 緊の影醒に全力を集中、午前、午後

を懸命上思、作田委員長報告通り 工業所有權法戰時時別案(政

塵は午後一時三十六分開霞、日程

これを探察・織いて、岡田麗安か 説を行ひ、また上田孝吉氏(大阪) る建職器(小山邦太郎氏ほか八

衆議院本會議

(中) 東京原染(中) 「一本郷け、また加騰・加川南氏に質」勝立送氏(黒鯛)の助職により世兵役送中改正法常義(政府場 | 氏に廻してはさきに徹長より罪罰・そかり、途仰証証を行ひ、多いて

する共産業を上程・金光財天氏・1、たてみとするわが屋内の形然の、最後に大東世民族連縁起に関 亜状衆圏を不顧の基礎の上に打ち

となり、法律案十四件、強質案三件

助に関する建設案を本會施に上湿が場一致これを「可央して、日湖倉

議場に溢れる決意

巡艦二隻轟沈破

術を採用して一島づつ波躍基地を なる物質力に物をいけせて飛石風

要次の年間に関して設備かなる所、オカ第5人、1年間に設備を重して、配外第二のふう必をらしめし、面は流々に協力と認識な三百五十て延伸を加入場つたが、も見識す、メートルである

り報告、一案とも委員長報告通り

建を顕沈、同一隻を曖昧した。こ

一五機を屠る(マダン

台回四】 | 死興・わが軍は地上火器により再

日同盟

朝鮮においては朝鮮に最も適



會商トイラ藤佐留本照寺芸芸市阪大

多數の學兵出でよ 軍や伴島學徒に期待

成米英を展指し、もつて顕微の縁 9頭観に戦ひ抜き大東耶共同の領

燃え上つた臨時競習は

れてゐるのを、唇せればならな

は一、二の開戦的なものに過ぎな 第外契約の一件のみで、審議項間

開館各地を視察中であつた小 の臓器酸によれば、海軍志照兵

や得た時の弊直さで概めである のは、概徴が如何なる心を以て のは、概徴が如何なる心を以て そが出來ると共に、年節若人が

に維樹すべしと期待する懲骸のに維樹すべしと期待する懲骸の

避餐に 味はせんとを 原図とし も期待されてゐると信じ、明日 野と聞き流すことなく、自分達

のであると同時に、全年間の食

必要ご程度

女子勤勞の

一感校の用意が如何なる程度に

元らこれに思ぶべきである。 他の地

示し得たことも、銃後年間の緊

はれである。妖くも二千五百萬

らしむると共に、改纂し、義謹す

物に失致せしめてはならぬので 心るが、殿村の女子が動勢精神

慈父の大愛に應へよ

盛人を選挙に任ずるの類である。

只今は大東面の純繊起に関し院

家諸民族に於いてもこの明快なるに力強い限りである。大鬼阻諸図 く符節を合せるものであって、軍

感想を次の如く語った。 に就いても朝鮮、台灣の選生は内 合同の臨時機會は朝鮮に直接開

官制化することは却つて屋上屋を 木船更に増强

八法案、三豫算案。*

十七分休趣、午後七時二十 削十時十分開省、関屋蔵相より

目分別 り連る を に

1 內時期 新空和東部 (東京) 大大樓 (東京)

科科科 3 建礦電化

築山氣學 科科科科 易か

が いり いり

場教科書

教育勅語新衍

瓶泰次郎氏

和心を 和心を が他の 交 が他の 交

教育の自然の

大日本工業學會出版部

六批 一八東 八東

物高い間がい出し

製の結果

調好算決の命生 Ė 保験金

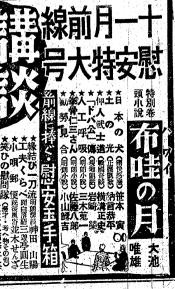
和息及配徵收入 鰯

死亡障害に関し

の加入各位には合計五分の配置を終すことしなれり。 間)にして責任準備金と時債実施との閉告は貳億五十五百萬圓なり。智性暗帽金七億五十九百萬圓。即級資産九億四百萬圓(時價拾億登千四百萬 十二月八日加入各位の名に於て陸海軍へ合計百萬國の感謝和金をなせり。 ひ四千意恵国を契約者配路に積立て配営道備金總額重億重千貮百萬圓を有す本期事祭上の網線金五千總百貳路七萬圓。内七日九拾總萬圓を夜南切下に肝

第 命保險相互會社

1



來內書爾虽

生谷

は美し!

半島造船技術强化 一業を急設

現場と緊密連絡

十二月號

★図民運動と規定するもの……原 田 網 ★地域組織と職域組織……新 明 正 道 ★配給活動と國民運動……中 杯 貞 男 大陸 組 論……津久井間雄 大陸 和 論……津久井間雄 大性産力增强と國民運動……中 原 利 世 東京 明 道 彦

| | 上 | 防 | | 衛 | 衛 | 衛

一 自桐原葆 東井復太郎 市 神 動見 市 中 動見

。國民運動の日本的性

國內態勢配心國民運動時

或《青年将校》日記 土屋春久

雅の芒 屋道焦

的理念一种川彦松

テート 競月ー十 銭五十四

生るが外 →日本人の心を教養・一彦のことしての隣組本日本人の心を教養・一彦のことしての隣組 服被の勝必 ★藤村先生の思ひ出 『嶋中雄作日本女子大生・現地座談會

あの日の南太平洋海戦

敵空母、戦艦等を撃滅

類窓近一を開沈、離世末符三、螺送医一を大碗文は中郷して飛行後、 「大碗」を開い、「東光行火巾網をいれぬ光記の成的を催んを表が無風寒寒

ワタカルシーム総

企業整備委員原衆(顧己)

資材の

號月一十 錢五十四營 社秋春藝文

端 全 一大尉 元 長 海 変 雄

領·神崎武雄

随流女

本体の ・大好と 成 殿・早登 至 ・大好と 成 殿・早登 至 ・ 原田種夫 ・ 原田種夫

バドリオの背信 公

田中俊雄 玉置 實

皇國婦人の 服裝倫型 艪ひの生活 精源

生活設備品 大熊信行 輸 送 婦 人 上田 皮 質 朝 大佛次郎 本 火野葦平

子供のこと

防寒具について、解断作門 と糸と

れ 編 級 奶

まら、異に入ったらどうして観さ、最上の合は共の如何を問はず、関連の感でもなくそれは全き段物する、異に入ったらどうして観さ、前時は、関連の感でもなくそれは全き段物を認えて、前時は、関連の感でもなくそれは全き段物をよった。 異に入ったらどうして観さ の核化でもつた、深薄に於て破等を続いています。 またくまで様面

一切の辛味が訓練生らの食物に満

心身の頑健こそ海兵への道

日本派団の短崎が臨山を食いて常一、観心を本とし思めを起しな心。るころでもある。入所書院は韓に・加徳之様。じめり・御碕には、開業に効めすべき単い。といるではこの部域所の調査、「・異して収費を指し合業に言語、生のよっつかった最初の選ばなど。かって込る親ここの部域所の調査、を変し重動開放の状态あるべか、深流地域でもなく、深深を奏しせらずな目前月更の加強光振り結束。らさる単

半島海のつはものは首つ

問答は無用!戦ふ

売た一大教訓 ******

水形で数へた、それは第一に航空

皇太子さな鎌倉に行啓

御學友ご史跡なごを御見學

量氏化へ門司一工場の朗話

跨師 是 安華 作 歇 阿 部 知 二 氏

「説明」の他局本年の成分は欧西

奮起を要望

從軍報告大講演會

半島ごは馴染

來た大陸

開拓青年隊、一日晴の壯行式

の研究は関に移り、解析なき城見

敵々けふ

小京城府民館時より

盡忠精神に徹せよ 半島の徴兵建軍以來の輝く歴史

就版の日を迎へる。破米英

蔬菜、台所

統制令にもとづく未織配給として

学童にも軍教

輸送収士を推奨

店ンシミ楠 ハカニサ電・二路鐘城京

平壤稅務研究會

足袋の確保

不一碳山 株式會 吐不

大員募集 **早城化學工業經仁川工場**

一十五階が上川上間がの場子にして同じやない 一十五階が上川上間が同当人を多び 一十五階が上上日間に同当人を多び 一日にのいよう。 一日にのいよう。 一日にのいよう。 必ず本人出頭のこと低し出頭費用に支給せず

時期の東亞ペント粉へ関係の東亞ペント粉へ関係の東亞ペント粉へ 三四二帝・韓は近三元三元 東亚化學工業社 東東北學工業社

製造元

鋼輪研乳所仁川工場

國防献金

工業株式會社仁川工場 明·鲜 總 督 府 指 末 濟 國 **哎 ヤ カー 並 車** 堅 固 輕 决 值 格 抵 凝 ●車輪は従来のリヤカー車間取付簡易 輪 愛 販賣店募集 東開業叩時可能 照會

● 連搬界に奉仕(企業許可不要)

防空暗幕 本絹地に特殊加工 暗幕設備の 設計製圖施工は 傳統と技術を誇る 花村防空設備研究所 大學の上級の2

檢查鑑定•證明•決算 會相設立•解散 清算 。 海平正 計平主

島津計理士事務所

無料經濟相談用

戶姓屬科醫院 電話本局② 四九八番

彈丸切手賣出し

京城府旭町二丁目

株式曹

カ

八魔告

型部公司部部司

アニアル

ぞた來が機敵 か見せ時だ。敵に一 今こそ日頃殺へた腕 存誕は靜かに。

あはてるな!

おちつけノ たぞ。取就したら敵 たが、取就したら敵 肚會式株 錦本

| 大日本 | 大日

愛山林の衛の四人町九十二 森下みや子

毛をはや、新療法

(明朝大甲介三十) 巨名 (明朝大甲介三十) 巨名 (明朝大甲介三十) 巨名

守儒募集



日午前九時から入党者職番接典。最=関郷品門宮郷産會】 で、間日正子から子後二時ま」き、屋上で古家連続料機器でい間登品の駅出が行はれる LS をも行る

疑した創意工夫

スペン 順高手 音響 金澤 7月 8月 大門 100 大

本二











趙學炳















に續く誓

皇恩の

増加するワン公に注射

菜蔬鮮全回三第 會評品藝園實果

十三道からの出品を嚴密審査

元越精

慰している。
を表している。
をましている。













血も涙もある政治

行風像三件を全部可決成立じ

軍需會社法に見る東條流

急襲の意義陸鷲下關初

総を加べたどいにれる、設置はソング河流域を中心に原明され、日本軍・航空部隊、も地上部隊と呼吸して作職が攻勢を開放し、一世三、廿四〇、兩日にわたり原民態®のおとにフィンシへ1へン北方四週の村等ガチカ附近の添加的

必勝不敗の礎確立

政府提出案件全部成立

金然火を吐く我が砲兵 シースボモンを担く我が砲兵 シースボモンを担く我が砲兵 シース・ボースンを担く我が砲兵 シー

が州軍陣地を突破

敵巡一轟沈一擊破

敵若干モノ島に上陸

怒江東岸を潰亂

賴母

小磯總督歸任 音篇とおける漢面是意意

各地とも堂々豫期以上の成績 小磯總督南鮮隱密視察談 半島の岩者

終へた小機能哲は節任の車中にて

生面均限に挺身する製紙の住々レーをに止めて建然県営行動を加し、

女はやり目 炎

P.

社會式標堂天參取大和日所行發

東かな効め 速かな効め 変かな効め

滿洲食糧增產案

新國軍法案決定

環・陳半 粉

ヤに おいて

く噛んで榮 は

養を豐富に を防がねばなられ を浄化してムシ酸 の原因になる細菌

民の錦座画画

産業戦士に カルシウム!

殊に…… 社会式採期到ドイロコ



たる大東部 により三日間 により三日間

|
で
渡日する

長

東條首相の演説

獨の各紙一齊に歡迎





米の政治闘争

小企拱昭長)

(付常務理事) のぞみで協成 のぞみで協成 中八日朝臨任

今後の動向を示唆

を緩和し病勢を好轉…… り体重を著増し抗病力を昂め、殊に倍増の補給と、消化酵素の胃腸强化作用に依 榮養不良· 肋膜炎にノ るピタミシ島は結核菌毒素 康を恢復し体力供出ノ も解わかもとを用ひて健 も解わかもとを用ひて健

社會式排棄製ともかわ

[8]

●梅◆節の兵職」と路

《街々等は映像化されて一であり、その知性的作風は文堂の

末端行政に細

我こそ

酸の

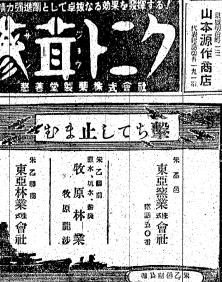












かの

п況

継展ぐ本府三十廰員の分列式

成果を誇示

ける尺八元我開口、様

の風俗より外の風俗よりの風俗よりの風俗な家風は 株式 投資

は高があって 無関係である というなど 銃後の勉めた 増産だり増産だり

州(東) 風(作)

京场超击學

朝取一般取ら質

大東石 油

文学是一个 家庭旅店里 10月29日-11月7日於4點條切 金條 · 親民勢力朝鮮勢型 後接 · 朝 野 · 約 季 府

第一章場 燃料相談所設置 食明中燃烧器の即要 第二章場 量上・燃烧器の質質

本田本類翼受相談所本田本類異異の成を今一度整理してならない衣類などないながなどである。 大田 本郷 はこの際 是非神智 田談所

脚、失、火、御見、舞响の大災の際には消防隊、警察官、警防風の代表の際には消防隊、警察官、警防風の大災の際には消防隊、警察官、警防風の大災の際には消防隊、警察官、警防風の大災の際には消防隊、警察官、警防風の大災の際には消防隊、警察官、警防風の大災の際には消防隊、警察官、警防風の大災の際には消防隊、警察官、警防風

化林瓣業科式會 1





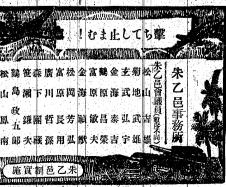














內假袋品